



珠 蓋 山 當

用意していて、 食事のあと全員輪にな

そうして全

員の自己紹介、 って重広さんを囲

を囲んでの

UNITE

クレ

歳

わ挨拶

+ のニ 万丨

ト直分後 が下り

キを分け合う。

に食事とする。今日誕生日の小竹嬢へささやかなケーキのプレゼンの重広さん一行の組と合流して山頂へ到着。この間待つこと約三○、佐食工十三名そろってまず三角点前で記念撮影を行い、そのあとて、仮となる。 先発していた西さんら女性四名が途中で道を間違えて、 なん 仮 を 組は一 二時四○分山頂到着。そのころより雲が広がり天候が 名で車にて 、温泉に一泊ということで支部忘び存知、重広恒大きんの ふるご存知、重広恒大きんの ふる 五、五集合して、先巻目となるれぞれが車に分乗して出発。 ・地蔵原に直行することになっており、準備的空港(九時一○分着)を経由し、工工集合して、先発組はは先に登っていった。今回のコースのれが車に分乗して出発。今回のコースの 発。 ばれ、一二 忘年会を兼ねてやろうという。 、一二月一六日 (土) に登っ 、るさと富士」をひる企画で、 後発組は重広さんは朝 アシックスの一行 ル蔵原に

に 行と四 行と四 行と四 行と四

三、朝

う 計画となっ 今回大分県

月月例山行報告

ふるちら路山 重広さんと玖珠富

二〇〇〇年は筋温

重広さんと玖珠富士へ 2000年忘年会筋湯で 風師山、芦上山、足立山 国国境機線の山原 故郷の山を想う(目) 帰りを待つのは… (11) 私の無名山ガイドブ おすすめ映画 お知らせ

、玖珠富士 (涌 ぐに持ち直してきた。 たころからパラつき始めるが、 い風の中、すっかりガスに 頂は、下山を始 蓋山)山頂で

わり、三時四十分山頂到着。こは、最後は一目山への急登で終 場へと下る。 こでまた記念撮影のあとスキー た草原のアップダウンのルート へと足をのばす。ゆったりとし ままみそこぶし山経由で一目 蓋越に降りた一行は、その Ш

これで総員二十八名となる。 本日の ぐに少し遅れた支部長が到着。 安藤幹氏の乾杯で始める。す六時三十分忘年会開始。長老 今朝回していた車に分乗して 宿「八丁原ヴユーホテ 夜の宴会の前に先ずは へ飛び込む。

の活 参加者の三名からも簡単なあいった。続いてアシックスの特別 訪を企画しているとの説明があ来年のテーマとして分水嶺の探 さつを頂く。 もごあいさつを。このなかで、 があり、そのあと重広さんから 紀はじめの来年も楽しい山登 皆の協力で成功させたが、 念すべき年に全国支部懇談会を 長から、二〇〇〇年 開しようとあいさつ 新 0 n 世

る、 タログとポスター、そして一人 ライドであり、楽しい一時でも ライドと説明である。貴重なス でいる、アシックスの企画であ後半は現在四年前から取り組ん 前半は氏のこれまでの歩んでき 広さんが自らサインをして各自 あった。そしてアシックスのカ るさと富士探訪までの記録のス の記録である。休憩をはさんで た海外の山を中心とした遠征 広さんのスライド講演会となる があり、しばらく歓談のあと重 物は呑み放題。支部長よりワイ 一人に用意されたバンダナに 鍋と馬刺しの説明がある。呑み せいな料理とスペシャルのシシ (会員) からもあいさつ。ごう さらに 日本百名山連続登破からふ 館主より酒二本の差し入れ 館主である甲 斐さん

(支部忘年会)

山岳…かんとうだけ(七〇九 雨であるが、『ふるさと富士』 頂へ。 林道を三○分のハイキングで山 発。玖珠町経由で朝日牧場に入m))へ登るため車五台にて出 製の展望台が出来ていた。昇 上がった。山頂には のため雨具をつけ、林道を歩く てみると雨上がりの 車で牧道の終点まで。小雨玖珠町経由で朝日牧場に入 日(十七日)目を覚ませば 山頂に着くころには雨も 三六〇度 日田富士(月出 新しく鉄骨 眺望は素晴 上であ 0

記念撮影の あと、三角 点を探

そのあともまた酒が追加され、

そのうちにカラオケもとびだ

産として渡された。

十一時になかじめをしたが

三等三角点を見つけた。再度そ らめて下りかけていたら、日すがなかなか見つからず、あ こで皆で万歳をして下山へ。 ヌギ林の中に、ひっそりとある 寄りの有刺鉄線の柵を越えたク

とり、重広さん一行と別れて帰 瀬温泉で露天風呂にゆったりと 路となった。 つかって今年最後の山の また来年もどこかの分水嶺に 後は時間もあったので天ケ 疲れを

みに。 スのホームページにアクセスし追記 新年になってアシック て重広さんらと会えるのを楽し

てみたら今回の玖珠富士の報告 真とともに紹介されていた。

鞍岳

(十月月例 Ш 行 報告

佐 藤

> 場から約十五分で山頂に到着。 て再び登山道を登り、キャンプ どでその道路の駐車帯に一時出

下の駐車場からは二十段ほど 路は山頂直下まで延びており、

あっけない山頂到 頂は、展望台のよ

鞍岳があり、 いた。 ので、「倉岳」の字を見てどこは阿蘇の鞍岳しか知らなかったけ」で同じ。案内を見た時点で 今回 の月 例 熊本に 読みも「くらた 山行は、 は阿蘇にも 熊 本天草

山は古くは信仰の山として崇め色がよく見える。そして、このらに整備されており、周りの景

着だった。 登るだけだ。

られていたようで、

午前一時三十分。 費やし、 途中で道に迷って無駄な時 え、やっと、倉岳山上 時間半。さらに、天草五 そして、宮崎から長友さんが現 方面へ延びている。五・六分ほ並行して舗装道路があり、山頂 内から登山道があったのでその すでに、長友さんも到着してお 管理人棟のベランダを利用して に閉村されて、人の気配はなく あるキャンプ場があるが、すで 延々一般道を走る。熊本まで二 地へ来るらしい。天草へ向けて 道を登る。ただし、左下には、 どおり五時に出発。キャンプ場 ぎには目を覚まして、 五睡 上には、バンガローがいくつか ん、小竹さん、清水さんの四名 眠。翌朝は、いつものように 時出発ということで、 長友さんを起こして、予定 駐車場に到着したのは 駐車場のすぐ 出発準備。 車場へ。 橋を越 間を

駐車場に戻って、帰ることにし クにも行ってみたが、何もなく、 ぐ横にある草スキー場側のピー 三角点は見つからなかった。す 展望台の登り口の所に三等三角 り、三六○度の展望が楽しめる で山頂だ。山頂には展望台があ もある。駐車場から歩いて三分 は、草スキー場や、天文台など 道路が出来ており、 る。こちらも倉岳同様山頂まで に位置し、車で四十分程度であ なった。龍ヶ岳は、倉岳の南東 る龍ヶ岳に行こうということに わりすぎたため、すぐ手前にあ のが、あまりにも倉岳が早く終 帰ろう」という話になっていた に登ったら天草五橋を観光して なったが、途中で道路は迂回を 山。「道路を歩いて帰ろう」と 点と書いた杭があったが正式な 山頂付近に

スで有名である。 立野の北側の外輪山で最初に高 たけ」で合意に達した。鞍岳は とになり、「今回はダブルくら 別れ、阿蘇へ向かっている最中 内で、宮崎から来た長友さんと ムシ山とともにハイキングコー い山で、熊本では隣にあるツー に「鞍岳にも登ろう」というこ 天草五橋を再び通り、熊本市

楽しめたかなと、思っている。

しまった。しかし、それなりに が多く、いささか運転疲れして 間。登る時間より移動時間の方 約一時間。移動時間およそ十時

ここから三㎞ほど走ると駐車場 過ぎてすぐに左に入る道がある。 ロードを登り上がり、電波塔を 登山口は、大津町からミルク

二等三角点があり、ここで再び十五分で頂上に到着。山頂には く西さんは、いつになく早足で 最短ルートを登った。先頭を行 ら二百メートルほど戻った所の 駐車場まで歩いて約十分。そし 角点とした。ここから先ほどの 勝手に決めて、この日最後の三 れが四等三角点ではないかと、 境界杭のようなものがあり、こ ピークもないだろと思ったら、 そうでなかった。そして最後の 目指す。最初のピークにはあり すぐ横に見える二つのピークを さらに四等三角点はないかと、 呆気にとられていた。この日、 飛び出して、周りのハイカーは バンザイ。さらにヤッホーまで ということになって、駐車場か があり、 て車を置いたとこまで道路を歩 一から三等までの三角点を通過 「一番近いところから登ろう」



かに下り一時すると急坂な下り縦走路は最初、足立山から緩や

急坂を下り終えると、

るので、迷う心配は全くない。 離呈の入った立て札が立って 整備されており、途中には、距 いったが、全く必要なく、平成 万五千の地図まで買って持って もあるのではないかと思い、二

年に福岡県の自然歩道として

企山 乢

(十一月月例山行報告

藤

路地図ではわかりにくく、ちょ で回り込む。展望台入り口が道 ったん風師山の麓を門司港駅ま 門司港駅側からついており、い 風師山展望台駐車場。道路は、 は、椎田有料を通り、目指すは、 一般道を順調に進む。中津から 北九州へ。朝早いこともあり、 うと心に決めていた。 ったことがなかったので、行こ たが、万一、一人になっても登 言っていたので、覚悟はしてい とになった。事前の情報で、 なかったので、ひとりで行くこ ず、集合時刻になっても誰も来 側がよく見える。ここから車を 台は、関門海峡を挟んで山口県 ると風師山展望台に着く。展望 識が出ており、車で十五分程登 ートル進んだ左手に風師山の標 道3号線を小倉方面にに数百メ つと迷ったが、門司港駅から国 影響もあって、参加者が集まら 「誰も行くと言って来ない」と 十二日午前五時過ぎに出発し、 今回は、ネパール組がいない 山頂は三つ目の

き、この日の登山を終えた。

二日間で、登山時間が通算で

次のピーク風師山山頂へ。展望 この風師山は、地元の人の健康 く。ここでバンザイをして、山 かな台地になっており展望も利 前八時二十分)。山頂は、緩や 台から約五分で山頂に到着(午 がある。展望を満喫したあと、 眼下にはっきりと見える。また 登山のメッカとなっているよう 「千回登山記念」の記念碑

り、足立山の麓にある妙見神社 われたので、一旦、風師山を下 向に欠ける。単独だったので車 車の道路で寸断されており、趣 縦走路は、住宅地に降りて自動 山から縦走路が続いているが、 を企教(きく)山系といい、九 頂から駐車場へ約十分で戻った。 を置き、足立山へ。この日「七 に移動する。神社の駐車場に車 戸上山へ縦走するのがいいと思 の移動を考えると、足立山から 州自然歩道になっている。風師 なる戸上山、足立山までの一帯 坂はすぐに急登となり大きくえ 頂まで、80分と書いてある。 口)」の看板があり、足立山山 ここが登山口となる。入り口に 行くと、和気清麻呂像があり、 の階段を上がり、社務所を左に り付けがされていた。妙見神社 けられ、神社はそれを迎える飾 五三」のため、臨時駐車場が設 は「企牧自然歩道(妙見山登山 この風師山から小倉方面に連

> 思議である。山頂は食事をする に入っていないのはちょっと不 ない。この山は何故か九州百山 が茂っているため、展望は良く 反対側は、低木ながら周りに木 上山まで続く尾根筋が見えるが、 ブルがニセット置かれておりゆ 到着)。山頂にはベンチとテー だらすぐに山頂だ(午前十一時 急登を登り約十分。坂がゆるん 段の石段を登って上宮にお参り 山道との合流点ともなる。数十 であるメモリアルクロスから登 る。ここは、もう一つの登山 山上宮への石段のある分岐に出 さらに尾根道を十五分で、妙見 かき分けないといけないところ 休憩は早々に切り上げ、縦走路 登山者がいて混んでいたので、 は、小文字山からの尾根道や戸 つくり休憩できる。関門海峡側 し、足立山へ。分岐から最後の はあまりないので、ブッシュを へ。事前情報では、縦走の解説 3

がたく頂いて、食器をお返しし たので、最後のバンザイをして 札よりやや低い海峡寄りにあっ 早々に食事を済ませて、戸上山 とか言って見ているだけで、拾 びに、「アー」とか「キャー」 包装のビニールが飛ぶ。そのた るコンビニのビニール袋や食品 豚汁をご馳走してくれた。あり いたら、先に居たオバサン方が ここで昼食を取ろうと準備して 良くない。三角点が山頂の立て 頂も海峡側はよく見えるが他は 分ほど登れば山頂だ。ここの山 に出る。あとは緩やかな坂を十 てやった。この場を離れようと のゴミも見せつけるように拾っ で、他にも飛び散っている周り いうていたらく。ムッとしたの って、走り回っているのに何と 食べている弁当までひっくり返 いに行こうとしない。こちらは し、時折吹く突風に、持ってい た。ここまでは良かった。しか ったが、なかなかのものである。 で、三百六十 大台ヶ原に出る。大台ヶ原は戸 な上下となり、およそ二十分で 着く。ここからはさらに緩やか へ。急登を五分ほど登ると、肩 と、方向が違う気がしたので、 があったが、やや荒れている 発。三角点の先に急坂の登 山の南西側山腹に広がる草原 この日は風が強く寒か 度のパノラマが楽

路沿 を終え、 車場へ。そして、この日の行 停で降りて、徒歩約七分で、駐 は便利が良い。黒原一丁目バス スムーズに移動。さすがに都会 り換え待ち時間もほとんどなく スに乗り換えて妙見神社へ。乗 り継いで車を取りに。小倉でバ といった感じだ。ここから、道 山口というよりも民家の入り口 風師山を時折見ながらおよそ三 がて下りとなり、先ほど登った 十分で門司駅。JRとバスを乗 せどを通って登山口に出る。登 十分で民家が現れ、民家の間 小さな山小屋がある。道は、や 出発してすぐ右手に神社の社と り?ながら平らなところを行く いの歩道を歩き、およそ二 大分へ向かった。

山荘一 の人がいたのでついでにと思っ 穂高岳―槍ケ岳の縦走が初めて た時期にと思って計画した。 いが、人が少なく天候の安定 花の盛は過ぎているかも れの地である。 て西穂高からあるいてみた。 雲ノ平一雲ノ平山荘 折立一富山 部川の源流の「雲 點羽岳一 水晶岳一

知

n ts

小さな上下を繰り返す。

およそ

一時間で三角点のあるピークに

古屋行の夜行特急バスでスター 午後八時に大分を出発する名 八月二五

西穂高岳まではツアー登山

て眠り薬のコー イン、ウイスキー、 送りと差し入れで車内は早速 いつも変わらぬリエさんの見 宴である。ビールに始まりワ ヒーで高鼾とな 焼酎、そし

八月二六日

線

旅

貞 夫 Щ

メン 岳—双六岳—三俣蓮華岳—三俣 1 ース 槍ケ岳山荘ー西鎌尾根一樅沢 奥穂高岳ー北穂高岳ー槍ケ岳 日 バー 星子貞夫 八月二五日 西穂高山荘一西穂高岳 池辺明美 1 九月一日 境卓也 矢野博幸

なる。

高山で安物の帽子を買うは

めに

ルギー切れとなり一服する。 くみて飛ばし過ぎて途中でエ る時のほうが楽である。少し 穂小屋までの道は五月の雪の 八月二七日 晴一時小雨 ケー 四時三〇 穂山頂 駅から 分分 Ħ あ

0 平は

ごしらえし乗鞍岳や焼岳が朝日 四時に起床してライトを頼りに く道を独標にむけて歩く。 めて朝露で濡れた這松の中に続 丸山まで登り、日ノ出を見て腹 で赤く染まる様子をカメラに収 朝食を弁当で貰っていたの

動販売機

ある。 と言う仕掛けの顎紐がついてい たことに気づき電話をかけまく て通販で仕入れた自慢の帽子で に風が吹いても絶対に飛ばない る。米国製の白い帽子でどんな は帽子をバスの車内に忘れてき みどりの窓口は大勢の人で、並 々とホームに出る。ここで境氏 ぶことの嫌いな境氏の特技で早 で飛騨高山までのキップを買う。 名古屋駅のキップ自

1- 祖父岳

四 時二〇分 動時間:

行動時間:

五時五〇分~一六

縦走のほうが楽だと思った。ジり勾配なので西穂高の方からの が続くが夏のこの時期、危険個そして最後に奥穂高岳とピーク 狗岳、ジャンダルム、馬の背、 確認するために頂上まで登った 背」だけは奥穂高にむかって登 行けば問題はない。ただ「馬の の人は西穂高岳止まりとなる。 にクサリ場となっている。 が、基部を信州側から巻くよう ヤンダルムで懸垂下降の支点を てあるので落ち着いて注意して 所にはすべてクサリがセットし 一群もいて賑やかである。大方 ここから赤石岳、間の岳、天

集をしており燃えるゴミは従業 降り出して岩がすこしスリップ の風呂の燃料にしている。 奥穂高の小屋はごみの分別 「馬の背」の通過の際小雨が

> OKである。 西穂高の小屋では拒否されたビ ルの空き缶もここではすべ

快い疲労のあとのこの一時 時間に前庭で持参のウイスキー、 ブランデー、で早速出来上がる。 「我が人生の最良の時」である。 八月二八日 穂高岳山荘で夕食までの 晴 が

北穂高岳に着く。 五五分 である。以前はこんなにクサリ してクサリ場を下る。地震の は無かったようだと話しながら 遺症で道が悪く、クサリだらけ 上につく。ここで皆で雉打ちを 山荘から二〇分で涸沢岳

るが、 さえあれば困難な事は無く、むある。だがクライミングの技術 表銀座や北鎌尾根をのぞむと過 岳から大天井岳に続く稜線を見 岳のガレ場を過ぎれば槍ケ岳山 ような所があるほうがスカッとしろ淡々とした道より時々この は「飛騨泣き」と呼ばれる所で 荘まで唯歩くだけのコースであ して楽しい。キレットを過ぎ南 った凄惨な谷である。 キレットの通過で最大の 右側槍沢のむこうに常念

君は何も見えなかったようで 出てきて夕方山頂に上った矢 槍ケ山荘に着いた頃からガス ぎ去ったいにしえの山行を思

して懐かしい。

元の猟師達は鳥も通わないと言稜線の左側は滝谷である。地

ある。

○分 | 一一五分~一時| | 八月二九日 | 晴

双六小屋で早めの昼食をする。裾巾の広い堂々たる山である。千丈を越から樅沢岳までかなりの距乗越から樅沢岳までかなりの距乗越から樅沢岳までかなりの距乗越から樅沢岳までかなりの距乗越から樅沢岳までかなりの距

ここから驚羽岳が山西に見える。禿山のように赤い土が痛々とい。時間が許せたので鷲羽岳たカップルは必ず結ばれると言たカップルは必ず結ばれるとではをスケッチする。双六小屋ではしい。時間が許せたので鷲羽岳しい。時間が許せたので鷲羽岳

ここから少し登って台地に出

有る。
の中間から丸山に登るルートもショートカットがあり、また其ショートカットがあり、また其とすが、その裾保蓮華岳の尾根となり、その裾の上が、左手に双六岳、丸山、三

をし、今日は五〇cm、

明日は

双六岳の急登を登りきると這が続いている。その土埃の中に動場の親子が五羽土浴びをしている。別の中についた羽虫をでいる。別の中についた羽虫をがる。人に追われて土埃を集けるが、やがて遺松の中に姿を消しが、やがて遺松の中に姿を消しが、やがて遺松の中に姿を消していった。

双六岳の頂上に至る台地は石 のような岩の配置が がりで石庭のような岩の配置が がりで石庭のような岩の配置が がりで石庭のような岩の配置が 見られる。ここで稀有な人に出 見られる。ここで稀有な人に出

四国は高松の在住で名は不明 四国は高松の在住で名は不明 四国は高松の在住で名は不明 のたが、リュウマチを患い、寝 が痛み、塗炭の苦じみを味わった。何とかして健康になりを ないるだけでも背中や骨の節々 でいるだけでも背中や骨の節々 でいるだけでも背中や骨の節々

> mと歩行距離を伸ばし、苦しみ 一mと歩行距離を伸ばし、苦しみ を廻り、これが嚆矢となって登 る。この度の予定は三俣山荘に る。この度の予定は三俣山荘に る。この度の予定は三俣山荘に で「八十八ヶ所」さんと相前後 で「八十八ヶ所」さんと相前後 して山行を共にした。

た緑の絨毯をじっと見下ろす。た緑の絨毯をじっと見下ろす。流がどこにあり、どのような地でも立体的なイメージが沸かなても立体的なイメージが沸かなで、午後の明るいと思うと感無量が一つ消えるかと思うと感無量で、午後の明るい日差しに輝いで、午後の明るい日差しに輝いた。このたび三俣山荘以遠は初体に緑の絨毯をじっと見下ろす。

施すと、いままで過ぎてきたど の山小屋にも無い安らぎを感じ て、水は潤沢である。この山荘 で撤去すると言うような生臭い を撤去すると言うような生臭い をかが起きているとの事である。 外月三〇日 晴

一〇分 五時三〇分~一四時

西側から見た鷲羽岳はその名のとおり大鷲が翼を広げた形をしている。その左翼から登り鷲に山荘を出発したがもうすっかり明るい。入山以来晴天続きでり明るい。入山以来晴天続きである。この時期夏から秋の変わめる。この時期夏から秋の変わり目でまだ夏の力が残っているのか、日中は日差しが強いが朝りはかなり冷える。

て水晶岳にむかう。 水晶小屋は裏銀座コースとの がは点にある。一瞬ネパールの がは点にある。一瞬ネパールの をした。ネパー をんな感じの小屋である。 水晶岳は岩山である。ルート

岩苔乗越で左右に分かれた流れによって出来た溶岩台地である。「雲ノ平」は祖父岳の噴火は黒部源流を二分する尾根であは黒部源流を二分する尾根であ

く風も這松に冷却されて涼しく

て建っている。山荘を超えて吹海のなかに浮かぶ船のようにし

三俣山荘は濃い緑の這松林の

る。 して流れ、黒部川に合流していは、この台地を取り囲むように

祖父岳の頂上は円形の溶岩礫を示す痕跡はないが山腹には溶を示す痕跡はないが山腹には溶をがれれがみられる。道はそのおをがればないが山腹には溶をがればないが山腹には溶がはないが山腹には溶がはないが山腹には溶がはないが山腹には溶がはないが山腹には溶がはないが山腹には溶がはないが山腹には溶がはないが山腹には溶がはないが山腹には溶がはないがいる。

ワリモ北分岐に荷物をデポ

ワインとビールで祝宴をする。来られたことを神に感謝して、参加で感慨も深く、事故も無くや国留学の夏休みに帰国しての中国留学の夏休みに帰国しての中国留学の夏休みに帰国しての

その先は読売新道となって黒部

行動時間: 六時三〇分~一五時八月三一日 晴.

が川の侵食の様子が良くわかる。 口で、今は深い谷になっている にくい。黒部源流が作ったゴー 口の下りで石が濡れていて歩き 師沢小屋である。 薬師沢出合の釣り橋を渡ると 沢への急な下りとなる。 山荘から祖母岳の裾をま ゴ |

時、我々のために朝から乾燥室 疲れて辿りつき、一日停滞した 前剣岳からの縦走で雨に濡れて 聞けば太郎平小屋の人である。 ある。数人の岩魚釣師に逢う。 を数回渡渉すると太郎兵衛平で にわざわざ火を入れて、ずぶ濡 太郎平小屋は懐かしい。数年 深い谷底の暗い小屋の裏手を 明るい台地に出で薬師沢

を見て、白樺ハイツ国民宿舎に 予約したタクシーで有峰のダム ま折立へと下ることにする。長 れの体を温めてくれた。 につく。ここで太郎平小屋から い、暑い道を三時間歩いて折立 今日は時間が早いのでこのま

荷物になった。 たが使用することもなく余分の ザイル二本とハーネスを持参し 奥穂高のルートのことを考えて たので楽であったが、西穂高~ 今回はすべて山小屋を利用

想う そのⅡ

部 昭

海抜一二〇〇メートルを過ぎき、六時半好天のなか登山開始。装備で、上畑まで自家用車で行り、何処ででも寝れるほぼ完全 絵ようで、今回の縦走路のあち のつつじの淡いピンクは一幅の 乱れており、空の青さとあけぼ ると「アケボノツツジ」が咲き シラフ、食料など二〇キロもあ きの三ツ坊主岩コース、三尾、 てくれた。 こちに見られ、私の疲れを癒し 縦走を行った。装備はツエルト、 観音の滝経由上畑(九折)の大 子岩、祖母山、傾山、上級者向 部落の健男社から前障子、大障 ルデンウイークに一人で上

になり、山小屋で日本各地の山いるという七十歳の男性と一緒 出となった。 の話を聞けたことも楽しい思 阪からの日本百名山を踏破して 性のパーティが多く、一人で登 ともあり、登山者、特に中年女 っている人は少なかったが、大 ゴールデンウイークと言うこ

肩に食い込み、途中エスケイプ 三日目八時間、荷物がずっしり 目十一時間半、二日目十二時間 たい思いを抑え、何とか九州 歩いた時間は休憩を入れ一日

> の肩に食い込む重みを除けば、 すく、踏み跡もしっかり付いて 切って、整備されたので歩きや 両側に生い茂っていたすず竹を きた。登山道は二年前緒方町が 最高の山行であった。 青空と花と新緑の尾根道を歩く おり、安心して歩けた。リック で最もハードなルートを完走で

な原生林を残そうと、原生林伐 から四十年ごろ自然保護、貴重 側など北側に少し残っているだ て残されたものである。 採反対の運動の結果、かろうじ けである。これも昭和三十五年 いた原生林は伐採されて、尾平 (1) 当時まだたくさん残って

受けたと伝えられています。 生林のすばらしさに深く感銘を 前に祖母山に登り、この山の原 名なw・ウエストンはこれより かの上高地を開いたことで有

のある豊富な清流を生むたくま れず、日の光が届かず、荒れた桧の植林された山は、間伐もさ 地肌がむき出しで、保水力が弱 林とは一目で判別できる。杉や ており、人工林や伐採後の自然 なされ、黒々と大きく泰然とし 緑から濃紺まで雑多な色で織り 五月若葉の時期、原生林は薄

る。

いを列記したい。比較して、私の故郷の山への思 今回の山行と四十五年前とを

和四十二年尾平越トンネルが掘の小屋は、今は跡形もない。昭建て替えられている。尾平越え 車で行けるようになっているの で壊れていたが、立派な小屋に たお陰である。傾山の九折越え 地より登山者が来るようになつ山が日本百名山になり、日本各 ウイークで宿泊者が三十人もあ 小屋(「あけぼの小屋」)に られ緒方から宮崎の高千穂まで の小屋も、昭和三〇年当時台風 り、テント泊まりを含めると約 て替えられている。ゴールデン 家発電装置を備えた、近代的 このトンネル入口からのコー で、アケボノツツジをみるには 一〇〇名の多さで、これも祖母 (三〇分) がお勧めです。 年に風力とソーラーの自 の山

う今日この頃です。 の活性化が出来ないものかと思 部落も豊栄鉱山が閉山となり、 係者も山を去り、尾平の部落は、 寂しい限りである。この農山村 日本の山村の典型を見るようで 子供のいない老人ばかりの村落 小川と谷にへばりつくようにあもとうの昔に廃校になっている。 四、五軒人口十人程で、上畑の った美しい棚田は荒れ果てて、 人口も激減し、小学校も中学校 (3) 尾平鉱山は閉山、営林関

しい山に蘇って欲しいものであ

である。今年七月に北アルプスのたすばらしい山である。同行ったすばらしい山である。同行ったすばらしい山である。同行ったすばらしい山である。同行ったすばらしい山である。同行ったすばらしい山である。同行ったすばらしい山である。同行ったすばらしい山である。同行ったすばらしい山である。同行ったすばらしい山である。 ので、しっかりとした装備と安 と思いました。傾山は天候次第 の後立山連峰(白馬から鹿島槍 全第一で登って欲しいものです。 では毎年遭難事故が起きている で厳しい山になります、この山 を含む)も捨てたものではない 傾の縦走(大障子岩、三ツ坊主 爺が岳)を縦走したが、祖母、 と大きな岩と岩峰だけが辛うじ て、登山者の目を楽しませてく

われており、私も三年前に調査ニホンツキノワグマ探し」が行謎となっています。毎年「幻の 息は科学的に証明されておらず、整情報がありましたが、その生 ツキノワグマが生息していまし に秘めた大きなロマンと言える 可能性を信じることは、原生林 隊に参加しました。生き残りの かと危惧されており、昨年も目 たが、今は絶滅したのではな (5) 祖母、 傾山系にはニホ いて言うことなし

はその名著「日本百名山」に次郷の山、祖母・傾山を深田久弥 のように表しています。 い自然があります。このわが故 滝」などがあり、ハイキングで 高さ七〇メートル、絹をたらし たような崇高な麗姿の「観音の 帰途は尾平へ下った。その途 楽しむことが出来るすばらし 祖母山の麓には春は 上渓谷」、傾山の九折には 新緑と岩

故里

0 Ш

はありがたきかな。

中から見た祖母東面の眺めはす

竜

その П

遭遇。まさに「ワンダーランド猿の軍団(二○匹はいた。)に 池周辺は花が咲き、岩小屋沢岳 たところ、手招きと勘違いした 荘で一服。上空を旋回するヘリ では雷鳥に出会い、その先では らしく急接近されて困った。種 がやかましいので手で追い払っ 晴の爺ヶ岳を過ぎ、 池

岩峰と黒々とした森林の配合は

その下を埋め尽くし、蔟立する 壁で囲まれ、鬱蒼たる原生林が ばらしかった。圏谷状の谷は岸

ちは傾山に登り、それから竹田 全く天の工であった。翌日私た

へ出て「荒城の月」で有名な古城

食べて出発。 りが・・・注文を間違った。し ど汲取り時間となり、自然の香 スカレーを注文。小屋はちょう かし空腹には勝てず、しっかり 新越山荘では超大好物のライ

や傾き加減の突兀とした姿で私

の眼を熱くした。」と。

を眺めた。祖母山は品のいいゆ

えながらそこから再び祖母・傾 址に立った。私は懐古の情に堪

後立」を満喫。

ったりした金字塔で、傾山はや

三氏作)これが私の故郷の原風

々と水を張る若葉森」(宮添忠

祖母山も傾山も遠く晴れ、隆

てもこの原風景はいつまでも心 を眺めながら育ち、故郷を離れ 景であり、子供の頃からこの山

残っている。そして故郷に帰

瞬間、地面と岩とザックに挟ま が谷へ落ち、前のめりに倒れた ずじまい。途中で、踏んだ浮石 しばらくもがき、ザックのパッ 面で地球の大きさを感じながら れた私は腹が支えた亀状態。顔 も、ガスのため黒部ダムは見え 鳴沢岳、赤沢岳と稜線を歩く

角形がぼんやりと見え、かつて おむすびの二段重ねの完成であは妙に親しみを感じた。頂上着。 うやく針ノ木岳のおむすび型三 と感謝々々。スパリ岳からはよ 小屋に下り最後のテント泊。 もなく、時計を見ると一七時。 る。一面ガスで視界ゼロ、人影 おむすびの異名を持っていた私 岳の神社の御守が守ってくれた

広がり、これから向かう北葛岳、に立つと三六○度のパノラマが、イ木小屋を後に蓮華岳へ。頂上 の彼方に浮かび上がり感激!針立山連峰から遠く槍ヶ岳が雲海 うに見えた。 七倉岳から船窪小屋が箱庭のよ だきくなったので、本日下山に 翌朝、まどろみの中、急によ

腰が抜けた。

こか不気味な七倉尾根を下り始 り軽く、正午に船窪小屋着。卵い岩場も本日下山と思うと足取 し、全く人気のない、しかしど ラーメンを食べてしばし昼寝を うこともなく、やせ尾根やもろ 蓮華の大下りからは、人に会

い物体!8 €÷♀♂\$¥%★☆た瞬間、二○m程先を横切る黒 瞬間、付近でガサガサという音。 ながらもう登山口かと安心した が以外と長く、少しイライラし ダムが見えた。しかしここから 下ると樹林に入り、やがて七倉 時の静寂のあと一歩踏み出し ガスで眺めもなく、ひたすら

倉ダム管理所に到着、助かった。 も呆れたのか姿を見せず、大成 も呆れたのか姿を見せず、大成 ここまできて熊の餌食になって 近くにいるということ。殺 子熊がいるということは母親が の子供であった。パニック!! らを伺っているのは、月の輪熊 戦を敢行。知る限りのギャグを なふりをして油断させ逃げる作 いか?しばしの沈黙の後、アホ 死にたくはないがどうしたらい 気!!脚がすくんで動けない。 ・・・?向こうの茂みからこち

風呂、ビール、料理を腹一杯食夜は七倉山荘泊。久しぶりの ス&軍手が主の帰りを待ってい て食器棚の上に鎮座するソック と部屋に戻ると、置き忘れられ に歩いた。目にした風景、交わげたい人、いろんな人達と一緒 話したい。帰ったら、真っ先に てあげたい人、話をきかせてあ た人達、すばらしい眺めを見せ 出会った人達、同じコース歩い べた。翌日は山上から見られな バス停に迎えにきてくれた知人 誰に伝えようか?そう思いつつ くさんの土産を誰かに見せたい した言葉、エピソード・・た 屋発の高速バスで帰路についた。 かった黒部ダムを観光し、名古 今回の山行も単独行だったが、

私の無名山ガイドブック④ 牛岳(五九0m)、 乙村

飯 田 勝

少し気になるピークである。 ではないが、鹿嵐山の衛星峰 村岳である。いずれも目立つ峰 張り出した稜線上のピークが乙 その北側、上麻生の谷に大きく 並んでいる小さなピーク。これ チも長いので、車で登り口まで く、また停留所からのアプロー ような存在で、鹿嵐山に登ると が牛岳と牛岳西である。そして これらの山へはバスの便も悪 鹿嵐山 北に双子峰のように 0

円座から約八㎞、小野川内を過ころが未改良か工事中である。 と登っていく。そしてその峠を された道がカープしながら峠へ 山への登山口を過ぎ、改良舗装更に一、五㎞で地蔵峠経由鹿嵐 景色に誰もが息を呑み、しばし 開されるその幻想的ともいえる 越えるとそれまでの平凡な景色 ぎ、鹿嵐山雌岳への登山口から 進んでるものの、まだいたると る県道円座中津線は大分改良が 行くしかなかろう。 が一変する。峠の右手一帯に展 院内町の円座から西に延びて

声を発することすら忘れるに

にワープしたかのような錯覚

まるで南画の風景の

は岩仙 にとらわれるに違いない。そこ 山の南西側斜面の景色で

所から 小さな小さな、まさに傘道と呼 名ば かり かなり東の稜線を越える は、以前は現在の峠の場

林に覆われ現在のような絶景は かいなかった。そして峠道は樹 るのは猟師か山仕事をする人し ぶにふさわしい、本当に馬か人 することは出来ないところであ 高い岩か木に登らなければ目に しか通れない峠道で、ここを通 る。

からの眺めであって、現在のこれている景色は麓の上麻生の方 して指定されているが、指定さ 耶馬渓の中の景勝地の一つと 仙 山の景色は文化財名 山の絶景)

> 自然破壊という道路工事がもた が出来るようになったのであり によって誰でも車で楽しむこと の景色は、県道が開通したこと らした皮肉な功罪の一つといえ

奥にある二つ谷の右側の谷であ うな景色に心を奪われているう の中に踏み込む。目標は広場の 登山道はない。県道脇の広場の ある。見た目には手軽に数十分 の奥には、直ぐ上に天然林の頂 が現れる。カヤに覆われた広場 山にへばりつくように下ってい がら大きな左カーブを曲がり、 ナで、その先、ゆっくり下りな る。大分県宇佐土木事務所地蔵 ち、二回ほど大きくカーブする 適当なところに車を停め、広場 で登れそうであるが、もちろん が聳えて見える。これが牛岳で て出来た野球場よりも広い広場 くと、左手に谷を大きく埋め立 峠雨量観測所のロボットアンテ 一の端にアンテナが見えてく を過ぎ、その目を見張るよ する。 がちなので目印などで注意を要

ら登っていくと崖の上に出る。 て小枝や木の幹につかまりなが 岩を登っても良いし、 た崖の下に出る。多少無理して 登っていくと、ほどなく崩壊し なる。少し登ると竹もなくなり 然樹林の中、直ぐに急な斜面と を渡るとシチク竹の混じった天 あり、その先のちいさな涸れ沢 カシやツバキの多い急な斜面を 広場のどん詰まりにU字溝が 左に巻い

> えて見える。下山は登路を見失 枝越に間近に鹿嵐山の双峰が聳

ようだ。山

頂の南側には、木の

ている。あまり古い石ではない

の景色。 の前後は下る時は方角を見失い はるかに雄大である。 振り返るとあの南画風の岩仙山 つピーク状小台地に達する。こ ていくこと約二〇分で岩の目立 小灌木天然林の稜線を急登 道路から眺めるよりも

来ないが何か文字が刻み込まれ 風に、平らな石の横に円い石が 角点も山頂を示す標識も何もな する鈍頂の牛岳山頂である。三 なり、やがて涸れた赤松の点在 ひたすら急登すると傾斜も緩く の混じった稜線を二十数分間、 なる。小さな岩が目立つ照葉樹 らずでヒノキも終わり天然林と うになり、馬の背から一○分足 登っていくとアオキが目立つよ 林との境界に沿って急な斜面を 床は下草もなく歩き易い。天然 その先はヒノキの 立っており、その石には判読出 い。何にもない山頂には陰陽石 る。ヒノキの急な斜面の左 (南) は天然林で、ヒノキの林 少し先は 馬の背状の尾 林の斜 面とな

ら下っていくと、伊呂波川の源 へばりつくようにカーブしなが 円ケ迫まで下る。県道は山腹に わないように引き返す。 次の乙村岳へは新しい県道を 大きく右にカー

> と下っている。 なり、上麻生の仙人、 と通れる程度の未改良の里道と 県道は橋を渡ると小型車がやっ れ、その上に砂坊ダムがある。 ブするところに左に林 古賀城へ 道が分

住んでいない。 のあったこの集落はその殆どが かれている。円ケ迫への入り口 廃屋となり、今は一軒しか人が が現れる。かっては数軒の住家 で、古い道を登っていくと集落 乙村岳山頂へも道はない。 少し先に左に草つきの道が分

る。 どで人の通過を阻む所もあり、 を頼りにひたすら上に向かって み込む。スギ林の中を獣道など の混じったスギの造林の中に踏 最後の家で、その横から照葉樹 もうそこは東西に長い山頂であ も直登すると傾斜が緩くなり、 の幹や枝につかまりながら数分 て小灌木の天然林となり、灌木 ちにスギ林の中となる。殆ど直 を右に左に登っていくとそのう 跡や石垣などが現れ、竹林の中 て真竹の ジグザグを繰り返される。やが 登っていくわけだが、風倒木な 登するように登っていくとやが 集落の中の道を登りつめると 林となり、炭焼き釜の

示すものは何もない。 石柱がある。それ以外に山頂を ようにひっそりと三等三角点の ほとんど落ち葉に殆ど埋もれる 地が迫り、明るい天然林の中、 山頂の北側にはヒノキの造

> 慎重に下 自分の往路を見失わないように Ш 鹿嵐山が望まれる。下山 頂の南には木の枝越しに牛

参考 25000/1地図 下市



वे वे め 映 画

西

あ

す

思います。 ったといういう方も多かったと たか?久しぶりに映画を見に行 お正月 カル・リミット」 画第一弾の『バーテ は如何でし

がいっそう美しく写し出されて 他の山の追随を許さない孤高さ 時々顔を出すK2の端正な姿は られず見入ってしまいました。 シデントにそんなこと言ってお いました。 いのですが、次々に起こるアク するなど、おかしなところは多 プも作らずにいきなりアタック 高度順化もせず、 前 進キャン

見てきました。 バン』です。一足お先に博多で れてヒューマンドラマ『キャラ ヒマラヤの五〇〇〇はで撮影さ さて、 次なるおすすめ映画は

さに命がけ。 戦いながらのキャラバンは、ま 計を立てている。過酷な自然と 旅(キャラバン)に出かけて生 て塩と麦や生活必需品を交換の いえない村。人々は、峠を越え 家畜の餌となる牧草も豊富とは 四〇〇〇にの乾燥地帯で、麦や の北西に位置するドルボは標高 ヒマラヤ中西部、ダウラギリ

キャラバンの出発日を巡って、 自分が孫が成長するまでの間キ 発となる。 キャラバンを二つに分けての出 若者と長老たちの意見が分かれ ヤラバンを率いると主張する。 しいリーダーにして、年老いた に戻る。長老はまだ幼い孫を新 で命を落とし、悲しみの中で村 村の長老の息子がキャラバン

らわず、何事も神の御心と受け ちはその大自然から多くの恵み 間は余りにも無力だが、村人た 入れて暮らしている。 と教えを受け、自然に育まれ逆 ヒマラヤの大自然の前では人

っている。 すところなく迫力ある画面とな の大自然の荘厳さと美しさを余 その苦労が夢を結び、ヒマラヤ しい撮影は三十二週間に及んだ。 害、マイナス二五度の中での厳 天候の急変、スタッフの高度障 〇〇は〜五〇〇〇はで行われた。 撮影はオールロケで標高四〇

・ツャムチョエ以外は初めての

出演は、ペマを演じたラプカ

験。ラプカは見覚えのある方

のシネマ5で上映。 の恋人役になったインドの女優 ット』でデビット・シューリス ン・ジャック・アノー監督の もいらっしゃるのでは…。ジャ 『セブンイヤーズ・イン・チベ 二月三日より二週間、府内町

ょ つと便利な お知ら せ

5

(三五、〇〇〇分の一の 北アルプスの地 义 地 図

えば、北アルプスで表銀座コー くことも多いと思います。たと 後立を針ノ木まで縦走すると五 スだと三枚、槍穂縦走も三枚、 長い縦走ともなると数枚持ち歩 分の一が理想的ではありますが 枚持たなければいけません。 地図を持って山には入ります くのは当たり前!では、どんな か?国土地理院の二五、〇〇〇 山に行くとき地図を持ってい

報が豊富に書き込まれています 分の一にもかかわらずルート情 設の連絡先などを掲載している 周辺地図のコースガイド、各施 を重視しているので、地図の苦 山並みの陰影を淡くして可続性 つの区域に分け、二五、〇〇〇 された『トレッキングマップ北 アルプス』は、北アルプスを六 北海道地図株式会社から出版

索できる手引き付き。 おまけに高山植物を花の色で検 · 上高地、穂高岳(焼岳、 で、 ヶ岳、蝶ケ岳) 山行にはとても便利です

目的

法 俵山

笠

午前五時サニー出発予定。 日時…二月二五日

(日)

槍ヶ岳、常念岳、燕岳 羽岳、三俣蓮華岳、 餓鬼 (監

四 立山、剣岳(弥陀ヶ原、五 薬師岳、 色ヶ原、黒部湖、針ノ木 岳、上の廊下、烏帽子岳)

五 白馬岳、唐松岳(栂池自然 鹿島槍ヶ岳、 園、栂海新道) 岳、下の廊下、水平歩道) 五竜岳(唐松

IF-070-8071 丁目一一六 問い合わせ先 北海道地図株式会社 旭川市台場一条二

定価 FAX 0166-61-3300 TEL 0166-61-5531 部九五二円+消費税

黒部五郎岳(水晶

・三食分の弁当と野営の準備を ・二四日午後八時サニー出発予 してください。

* ください。 あります。希望者は申し出て 「宮崎百山」が数冊事務局に

三月月例山行の

目的 …仰烏帽子岳 (三三面) (熊本県)

· 日時…三月二五日(日)

冊二、一〇〇円です。

二月月例山行の 5 せ

せいでしょうか。

んと同行の楽しい山歩きでし

一二月の月例山行は重広さ

機会が多いと思うのは、気の 道で猪やウサギや鹿に出合う

お

知

多いようです。

雪の多いせいか、

今年は山

そのため例年より山には雪が 意外と寒い冬になっています。

暖冬と予報されていたのに

日本山岳会東九州支部報 第1

1年 (平成13年) 200 1月30日

発行者 編集者 秀勝 徳 梅 木 発行所

毎 小 飯 田 勝 〒870-0021 大分市府内町1-3-16 サニースポーツ内 西 孝子 「FAX 097-532-0926 孝子方

寄稿をお待ちしています。 を予定しています。会員の皆様 の山のお便りや山行報告などの 今年も会報の年四回発行 (一月、四月、七月、十月 した。 さんご一家の暖かいおもてな し、どうも有り難うございま 賑わいで。ヴュホテルの甲斐 た。そして、夜の忘年会は大